



商店街開業プログラムで開業準備を進め 父の店をリニューアルオープン



YAMATAKE

趣味の園芸と陶器 山竹

動坂商店会 (文京区)

**地域のニーズを取り入れ
観葉植物やアジア雑貨を販売**

趣味の園芸と陶器の店「山竹」は、JR山手線と京浜東北線の田端駅北口から徒歩7分、動坂商店会の一角にある。昭和28年、竹部英雄さんの父が開いた陶磁器販売の店は、都電「動坂下」停留所前という好立地で繁盛していたが、父が亡くなるとともに閉店。先代の足跡をたどった産地巡りで、作家の物づくりへのこだわりに共感し、定年退職を機に、店をリニューアルオープンすることに決めた。

自動車メーカーのエンジニアだった竹部さんは、店舗経営に



竹部英雄さん



こだわりのアジア雑貨（上）と竹箸（下）

については未経験であった。そこで、経営の基礎知識を学ぶ商人大学校や、商店街で開業する方に事業計画の作成を手厚く支援する商店街起業促進サポート事業（商店街開業プログラム）を受講するなど着々と準備を重ね、平成29年3月、妻の裕子さんの協力を得て店をオープンさせた。

陶器職人だった先代からの仕入ネットワークを活かして、信楽焼や笠間焼など、窯元や作家から仕入れたこだわりの陶器を販売。顧客の意見を取り入れ、大田市場から新鮮な花や観葉植物

を仕入れ、エンジニア時代に赴任していたタイを中心に、アジア雑貨も販売している。

専門家からお客様目線の店舗運営を学ぶ

竹部さんは開業後にも商店街パワーアップ作戦を活用。専門家からは「お客様は何が欲しいのか、何を求めているのか考えること」というアドバイスを受けた。従来は品質の良いものを売れば良いという考えであったが、お客様に喜んでもらうために店は何をすべきかという視点の大切さを再認識した。

また、単に商品売って終わりではなく、お客様の必要としている継続的なアフターケアも考えることを専門家からアドバイスされた。開店時に行った商圈分析では、店の周辺には古くから住むシニア層が多く、自宅の観葉植物の手入れに困っている人が多いことに気づいた。そこで、観葉植物の植え替えサ-

ビスのチラシを配布すると、依頼が入るようになった。今では、観葉植物を購入されたお客様のカルテを作り、植え替えや虫よけ対策など、季節に応じた提案も心がけている。

商店街で開業することで、人の輪がつながり、地域がより豊かに

課題解決に向けた取組を一つ一つ着実に実行し、安定した店舗運営を続けている。

「私が店を開いた時は、お客様に喜ばれてとてもうれしく思っ

ていました。改装する時には商店会の仲間が内装工事を手伝ってくれました。これからも地域のお客様に愛される店にして、この街をますます盛り上げていきたい。」と竹部さんは熱く語った。



観葉植物の販売と植え替えも行う



① 趣味の園芸と陶器 山竹

🏠 文京区本駒込 4-42-1

☎ 03-3821-6310

🌐 <https://www.facebook.com/yamatake.tokyo/>

● 活用した事業

商店街起業促進サポート事業(商店街開業プログラム)
商人大学校、商店街パワーアップ作戦

